

●九州各県での救急医療体制の整備 [幹事県 佐賀県]

[目的]

九州・山口各県が共同して、広域かつ迅速な救急医療に取り組むことにより、安全・安心な医療体制を構築する。

[取組内容]

九州・山口共同でドクターヘリを活用した重症患者の広域的な搬送体制の構築や導入に向けた研究を実施

[主な取組状況(知事会議での報告状況等)]

- 平成19年5月 第129回九州地方知事会議
 - ・長崎県が「あり方研」へ提案、政策連合による取組開始を決定(幹事県：佐賀県)
- 平成19年9月 「九州・山口ドクターヘリ共同利用連絡会議」設置
 - ・共同運航の圏域、メリット、課題等について協議(九州・山口を3圏域(導入済の圏域、九州南部に2圏域)に設定し、既導入のドクターヘリ2機の共同利用の推進と未導入の九州南部における効率的な導入について研究)
 - [現状]ドクターヘリは福岡・長崎両県で導入済(福岡県は佐賀・大分両県と共同利用)
 - [ドクターヘリの定義]①救急医療に必要な機器を装備し医薬品を搭載、②救急医療に係る高度の医療を提供している病院の施設としてその敷地内その他の当該病院の医師が直ちに搭乗できる場所に配備
 - ※「防災ヘリ」は救急活動面においてドクターヘリの補完的役割を持つものとして留意
- 平成19年10月 第130回九州地方知事会議
 - ・取組状況を報告
- 平成19年10月 九州・山口ドクターヘリ共同利用連絡会議
 - ・今後の取組方針、検討課題、スケジュール等について確認
- 平成20年2月 九州北部三県政策協力推進会議(福岡県・佐賀県・長崎県)
 - ・佐賀県と長崎県による共同利用についての方針確認、スケジュール等について協議
- 平成20年5月 第131回九州地方知事会議(ペーパー報告)
 - ・取組状況を報告
- 平成20年10月 ドクターヘリ導入・共同利用に関する九州・山口各県現状調査の実施
- 平成20年10月 第132回九州地方知事会議(ペーパー報告)
 - ・取組状況を報告
- 平成20年11月 九州・山口ドクターヘリ共同利用連絡会議
 - ・各県の導入・共同利用に係る現状把握、共同利用に係る協議項目(共同運航エリア、経費負担等)及び協議の進め方等を確認
- 平成20年12月 沖縄県がドクターヘリ導入、鹿児島県との共同利用開始
 - ・沖縄県、鹿児島県による共同利用に係る協議(平成20年8、11月)
共同運航エリア、経費負担等に係る協議、鹿児島県奄美南部(徳之島、沖永良部島及び与論島)における共同利用について合意(平成20年11月)
- 平成21年6月 ドクターヘリ導入・共同利用に関する九州・山口各県現状調査の実施
- 平成21年6月 第133回九州地方知事会議(ペーパー報告)
 - ・取組状況を報告
- 平成21年8月 九州・山口ドクターヘリ共同利用連絡会議
 - ・各県の導入・共同利用に係る現状把握、取組成果の確認
- 平成21年10月 長崎県がドクターヘリ導入、佐賀県との共同利用開始
 - ・長崎県、佐賀県による共同利用に係る協議(平成20年6、10月、平成21年3、9月)
共同運航エリア、経費負担等に係る協議、共同利用に係る協定締結(平成21年10月)
- 平成21年10月 第134回九州地方知事会議
 - ・取組状況を報告
- 平成22年5月 第135回九州地方知事会議(ペーパー報告)
 - ・取組状況を報告
- 平成22年8月 ドクターヘリ導入・共同利用に関する九州・山口各県現状調査の実施

○平成22年10月 第136回九州地方知事会議(ペーパー報告)

・取組状況を報告

○平成23年2月 ドクターヘリ導入・共同利用に関する九州・山口各県現状調査の実施

○平成23年6月 第137回九州地方知事会議

・取組状況を報告

○平成23年7月 あり方研幹事会から活性化に向けた意見を通知

・『共同運航や防災ヘリとの連携など、効率的かつ効果的な運用について議論の深化を』

○平成24年5月 「ドクターヘリ基地病院九州地区連絡協議会」設置

・九州各県の行政担当者と基地病院の救命救急センター長がドクターヘリ活動の連携について意見交換

○平成25年5月 ドクターヘリ基地病院九州地区連絡協議会

・今後の各県の共同運航や連携体制について情報交換

○平成26年1月 佐賀県がドクターヘリ導入(九州・山口9県全てがドクターヘリを導入)

○平成26年6月 ドクターヘリ基地病院九州地区連絡協議会

・今後の各県の共同運航や連携体制について情報交換

○平成26年6月 第143回九州地方知事会議

・取組状況を報告(今後は相互応援についても検討)

○平成26年12月 福岡県と佐賀県がドクターヘリの相互応援運航開始

○平成27年5月 ドクターヘリ基地病院九州地区連絡協議会

・今後の各県の共同運航や連携体制について情報交換

○平成28年6月 ドクターヘリ基地病院九州地区連絡協議会

・今後の各県の共同運航や連携体制について情報交換

○平成29年6月 ドクターヘリ九州地区連絡協議会

・今後の各県の共同運航や連携体制及び災害時の運用体制について情報交換

[成果]

(1)九州・山口9県全てがドクターヘリを導入(全県が導入済の地域は九州・山口が全国初)

・沖縄県がドクターヘリ導入、鹿児島県との共同利用開始(平成20年12月)

・長崎県がドクターヘリ導入、佐賀県との共同利用開始(平成21年10月)

・佐賀県がドクターヘリ導入(平成26年1月)

(2)ドクターヘリの活用に係る研究体制の整備

・「九州・山口ドクターヘリ共同利用連絡会議」設置(平成19年9月)

・「ドクターヘリ基地病院九州地区連絡協議会」設置(平成24年5月)

(3)福岡県と佐賀県がドクターヘリの相互応援運航を開始(平成26年12月)

[課題]

(1)九州南部における共同運航エリアの設定(九州南部の各県は県土が広く、共同運航エリアの設定が困難)

(2)共同運航や相互応援運航の実施(各県において具体的な共同運航や相互応援運航によるドクターヘリの効率的な運航を進めることが必要)

(3)持続可能なドクターヘリの運航(救命救急センターを有する病院における救急医等の医師確保や運航に要する多額な経費の確保等について、共同利用等を通じて各県が一層協力して検討する体制を構築することが必要)

[今後の取組]

(1)ドクターヘリ導入に当たっての効率的運用の観点からの検討(ドクターヘリの飛行範囲円(半径70km程度)、地理的条件(離島、山岳地域)、運航実績(件数、フライト時間)等を考慮しつつ、隣県との共同運航による効率的運用についても検討)

(2)相互応援運航の推進(隣県等との相互応援運航を検討)

(3)消防防災ヘリ等によるドクターヘリの補完(既に医師添乗等による患者搬送を行っている消防防災ヘリ等は、ドクターヘリを補完するものとして引き続き活用)